



やまもと りん
山本 凜ちゃん (鶺鴒)
令和3年11月7日生まれ
誠さん&真理さんの長女

いつも元気な凜ちゃん!お
店屋さんごっこやおままご
とがとっても上手で大好き
です。これからも元気で
やさしい子に育ってね♡
…お母さんから



おか あんじゅ
岡 杏樹ちゃん (鶺鴒)
令和3年11月15日生まれ
勇人さん&あずさんの長女

歌やダンス、楽しいことが大好きなあんじゅです。お姉ちゃんになり、できることも増え、毎日パワーアップしています!これからも妹と仲よく、元気いっぱい育ってね♡…お母さんから



やまの ひより
山野 陽和ちゃん (鶺鴒)
令和3年11月16日生まれ
健人さん&千晴さんの長女

歌うことと踊ることが大好きなひいちゃん。いつもいろんな歌を歌い、踊りをみせてくれます。これからも元気いっぱいやさしい子に育ってね♡…パパとママから



あらか こうてん
荒尾 洸天ちゃん (井田)
令和3年11月28日生まれ
和彦さん&千春さんの次男

僕の趣味は、熊野水軍太鼓のまねをして太鼓を打つことと、追っかけです。大きくなったら憧れの師匠みたいに迫力のある太鼓を打ちたいです!!…本人より

【募集】満3歳の誕生日を迎える子ども(令和4年1・2月生まれ)を募集します。ご希望の方は、広報係(☎33-0334)までご連絡ください。申込期限は11月29日(金)。



尊敬される保育士になりたい!!

逢野 詩菜 さん (鶺鴒・24歳)

- ◆お仕事は?
今年4月より、飯盛保育所に勤めており、2歳児クラスの担任をしています。早く仕事に慣れ、子どもたちや町のみなさんから信頼される保育をしていきたいです。
- ◆趣味は?
趣味は友だちとお出かけをすることです。きれいな景色を見に出かけることが多いです。
- ◆チャレンジしたいことは?
家族や祖母を連れて旅行に行きたいです。家族や祖母が海鮮
- ◆好きなタイプは?
子ども好きで楽しく接してくれる人がタイプです。
- ◆町にひびくは?
紀宝町は、自然豊かで地域の方もやさしく、とても住み心地のよい町だと思います。

地域の方とともに

阪口 時彦 さん (桐原)

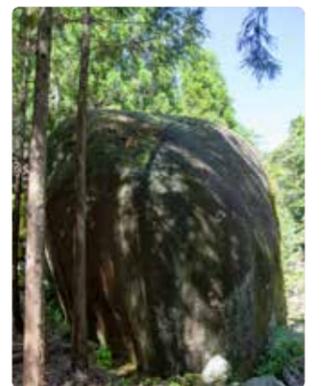


私は5年前、60才を迎え定年退職し関西から故郷である紀宝町に戻ってきました。
帰郷後、自然が豊かすぎて、夜は野生動物の鳴き声が響きわたるとともに、田んぼと畑で夜な夜な運動会が行われ、朝にはその痕跡が残っていることで、自然の豊か

さに懐かしさを感じる半面、野生動物が増えていることが、とてもショックでした。
そのため、農獵の狩猟免許を取得しようと考え、猟友会に相談し、熊野市で猟友会の主催する講習会に参加しました。参加者は約50名で同年代か年配の方が多く、講習

PROFILE

さかぐち ときひこ さん
故郷の桐原に戻りさまざまな活動をされている阪口さん。「地域のみなさんにはいろいろ教えていただき、大変お世話になっています」と話していました。



桐原の奥に住んでいた赤鬼が運んできたという伝説がある「鬼の担い石」

内容は、覚えることが多かったですが解りやすい説明でした。国家試験は津市の大学で実施され、会場に入って驚いたのが受験生の約10%が女性だったことです。試験も無事に終了し、数か月後、合格通知が届き、晴れて狩猟免許を取得しました。
その後、狩猟経験がある方や地域の方たちに農のかけ方や生息地などを教えていただきながら、特に有害駆除に力を入れて活動しており、ほんの少し地域の役に立てたのかなと思います。
次に、私が管理している林の中に旧紀宝町が発行した「文化財を訪ねて」に記載されている「鬼の担い石」があるのですが、木々が生い茂り、見えなくなっている状態でした。森林組合に相談し、間伐は、森林組合の仕事をしている知人の方にお願ひし、枝打ちは自分で行うことにしました。枝打ち

の仕方は知人に丁寧に教えてもらい、失敗しながらもなんとか樹木の間から鬼の担い石が見えるまでになりました。
作業を終え、一番大きな石のもとに行き、昔ながらの湧き水で手を洗い、そっと担い石を触ると、伝説を思い出し、心が落ち着く自分がいきました。何も知らない人にとってはただの大きな石ですが、伝説を知ることで見方が変わるかもしれません。
最後に、四季を通じてこの桐原の原風景が好きなので、地域のみなさんと、農作業などさまざまなことを教えてもらいつつ、のんびりと笑いながら世間話をして、これからもスローライフを楽しんでいければ幸いです。

12月号は大里の川内(かわうち)さんです。阪口さんからは、「よろしくお願ひします。」